

ふるさとを想う、東京かみのくに会

3月30日、関東在住の町出身者で組織される東京かみのくに会（倉谷久会長・木ノ子出身）の総会・懇親会が東京都内のホテルで開催され、関東圏在住の上ノ国町出身者や上ノ国町に縁のある方など約80名が参加しました。

総会では、倉谷会長が「会としてふるさとへの貢献活動を行いたい」と挨拶した上で、AEDや植樹費用などの目録を町長に手渡ししました。また、町長からは最近の町の話題等について、挨拶を述べました。総会終了後の懇親会では、互いに近況を報告しあっていたほか、特産品販売では海の幸や山の幸が盛り沢山で、販売開始から売り切れほどの大盛況となりました。最後は上ノ国音頭を輪になって踊るなど大変な盛り上がりでした。



「東京かみのくに会」総会 懇親会

Kボール全国大会で3位の快挙

上中生コンピ、チームを牽引

3月29日から30日にかけて、神奈川県で行われた「第8回14U関東オープン野球大会」南足柄（金太郎杯）において、北海道代表として渡島BBCとともに出場した檜山チームが、見事3位に輝きました。特に、投手と捕手のバッテリーを担ったのは、上ノ国中学校2年生の福原迅矩君と小田瑠人君の二人で、1回戦から3位決定戦まで、気迫あふれるプレーでチームを引っ張り続けたとのことでした。

同チームの監督である、上中野球部監督の金子公也先生にお話をうかがったところ、「選手全員の頑張りとともに、バッテリーが素晴らしい作り、充実した試合を見せてくれました」と活躍を讃え、中体連やその後の試合に向けてもチームに弾みがついたとのことでした。



リニューアル二周年！

新たな挑戦続ける道の駅もんじゅ

4月7日、昨年のリニューアルオープンから一周年を迎えた道の駅もんじゅにおいて、記念イベントが開催され、町内外から約800名が来場しました。

この日の目玉は、なんといつても、上ノ国特産のゴジラエビを使った新商品『バター』『ラー油』『ふりかけ』の3品で、割引セールも相まって、物産コーナーでは一部商品が品切れになるほどの好評ぶりでした。

近年、もんじゅでは積極的な賞品開発を展開しており、和菓子や販売している菓処「あまのがわ」ではパンの試作も行ってきているなど、リニューアルを機にその流れは一層加速していることから、今後、地域の顔となるような大ヒット商品が誕生することが期待されます。



左から新商品のバター、ラー油、ふりかけ

まちの将来を見据えて

第6次総合計画策定審議会が開催

3月28日、本町における今後10年間の政策決定の基準となる、新たな総合計画策定に向けた審議会が、ジョイじよぐらにおいて開催されました。

本審議会は、町内有識者等47人の委員により構成され、様々な視点から必要な調査及び審議を行って、来年3月を目処に約1年をかけて計画を策定することとなります。

第1回となる審議会の冒頭で、工藤町長は、今後予測される危機的な人口減少時代の到来を念頭に、まちの経済やコミュニティ、公共サービスなどを如何に維持し、町全体を活性化させていくかがカギと提起していました。第2回審議会は6月を予定しており、今後上ノ国町の将来を見据えて計画が練り上げられていくこととなります。



第6次上ノ国町総合計画策定審議会